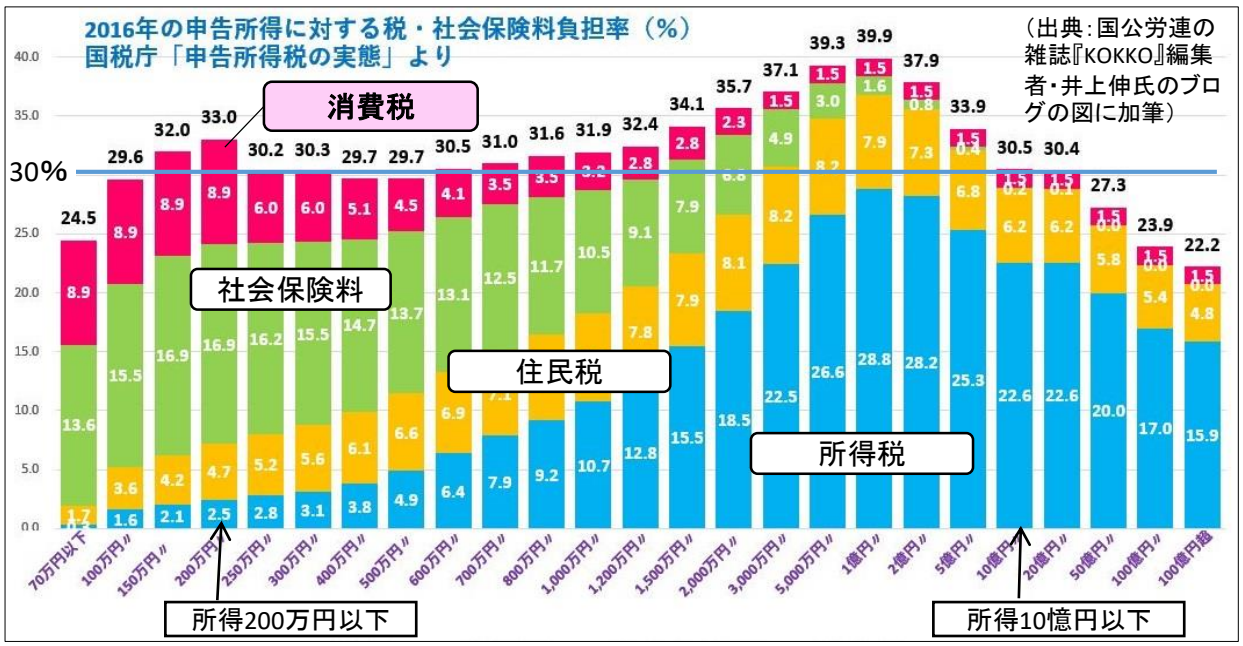
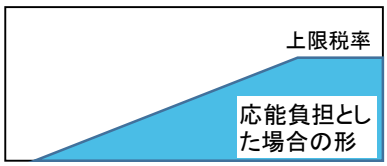
所得の30%前後を [税+社会保険料]に支出している

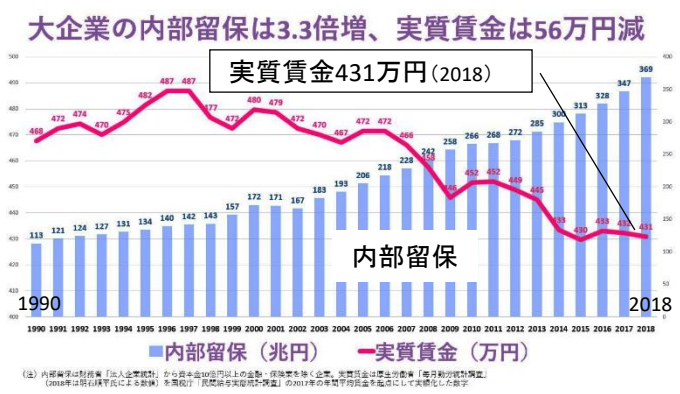
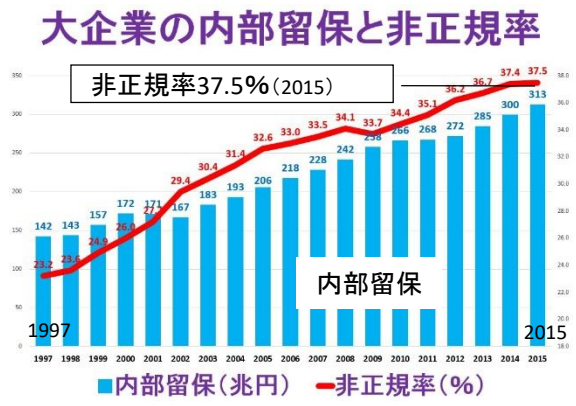
所得に対する税・社会保険料の負担率（%） 2016年度



・横軸は所得（収入から必要経費を引く）を表す。低所得層は、**消費税、社会保険料の負担割合が重く**、所得の30%前後が負担となっている。将来的には、右概念図のような応能負担の形が望ましい。

・所得1億円以上となると負担率が下がっているのは、金融所得等の分離課税制度が富裕層優遇となっているため。



内部留保は増加、実質賃金は低下、非正規率は上昇

（出典：国公労連の雑誌『KOKKO』編集者・井上伸氏のブログの図に加筆）https://blogos.com/article/203487/